

重点課題	活動テーマ	達成に向けた主な施策	2030年目標
<b>環境</b> 	環境に配慮したサプライチェーンの実現 (CO2排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ推進 / 再生可能エネルギーの活用</li> <li>・物流効率向上と環境対応車両への切替推進</li> <li>・自然冷媒機器の導入</li> </ul>	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、CO2排出量 (※) を2016年度対比60%削減する。
	食品廃棄物の削減や活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【出さない】AI活用等による需要予測 / 発注精度向上</li> <li>・【出さない】取引先との協業による返品削減</li> <li>・【売り切る】メーカー返品削減</li> <li>・【社会貢献・リサイクル】循環型有効活用</li> </ul>	食品廃棄量を2016年度対比50%削減する。
	環境に配慮した製品の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社開発商品やセンター(梱包由来)で使用するプラスチック包材の3R+Renewable</li> <li>・自社開発商品のバイオマスインキ利用促進</li> <li>・環境配慮型包材、販促資材等の利用</li> <li>・天然資源使用(コピー用紙、水等)の削減</li> </ul>	プラスチック資源循環を推進し、環境に配慮した製品を活用する。
<b>地域・暮らし</b> 	サプライチェーン全体の品質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調達領域・商品領域・物流領域における品質向上</li> </ul>	強靱で持続可能なサプライチェーンを構築する。
	安定した物流の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配送車両の可視化 / 効率化</li> <li>・機械化 / 新技術導入 / 省人化による作業効率化</li> </ul>	
	食を通じた地域振興と地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP体制強化 / 訓練 / 教育の継続実施</li> <li>・基幹拠点の災害時非常用電源確保</li> <li>・燃料供給体制の整備</li> </ul>	地域課題の解決と地域貢献に資する商品やサービスを創出または拡充する。
	日本の食文化輸出と海外市場の開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品発掘 / 全国の自治体等との取り組み深耕</li> </ul>	海外成長市場で日本の食文化の需要を創出または拡充する。
	急激に変化する国内需要への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本食への関心が高い海外の需要に応える商品開発・商品調達</li> <li>・地域メーカーの製造能力の活用・輸出拡大</li> <li>・各国の環境に合わせた事業の構築</li> </ul>	国内需要の変化に対応し、生活者ニーズに合わせて商品を開発し提供する。
<b>健康</b> 	日本の健康寿命延伸と貧困・飢餓の撲滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活者データ分析の高度化を通じた商品開発</li> </ul>	健康課題を解決し、健康に資する商品やサービスを創出または拡充する。
	全社員が活躍できる労働環境整備 ・人財開発・人財確保 ・適正な労働環境の整備 ・ダイバーシティの推進 ・人権の尊重 ・社員の健康増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に資する商品開発 / 販売増による市場拡大</li> <li>・誰もが栄養価の高い食品へのアクセスができる販売網の構築</li> <li>・貧困・飢餓撲滅への貢献 (キャンペーン参加、賞味期限切れ前の出荷不可商品の寄付等)</li> </ul>	個性を尊重し、能力や適性を活かして健康的に活躍できる組織風土を醸成し、エンゲージメントを向上させる。
<b>価値創造の基盤</b> 	デジタル技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国籍や性別等に関わらず多様性のある優秀な人材の採用と登用</li> <li>・人権尊重と一人一人の個性を尊重する組織風土醸成</li> <li>・スキルや能力、適性を考慮した配員</li> <li>・自律的なキャリア形成支援や継続的な人材の育成</li> <li>・多様な働き方 / 安全で快適な労働環境の整備</li> </ul>	デジタル技術を活用して業務を変革し、サプライチェーン全体の効率化と生産性向上に貢献する。
	コーポレートガバナンス体制の充実 ・コンプライアンス・リスクマネジメント・財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康経営の実践による社員の健康増進と自己効力感向上 (肉体的健康 / 精神的健康 / 社会的健康 / 主体的行動 / ワークとライフのコントロール)</li> <li>・健康経営優良法人ホワイト500取得に向けた体制整備</li> <li>・健康経営銘柄取得に向けた体制整備</li> <li>・セミナー・イベントの提供</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹システムの高度化</li> <li>・AI技術の活用</li> <li>・デジタル人材の育成</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種定例委員会 (指名・報酬・ガバナンス委員会 / グループ取引管理委員会 / 全社リスクマネジメント委員会 / コンプライアンス委員会等) の設置 / 取組推進</li> </ul>	

パートナーシップ&イノベーション

※Scope 1 (事業者自らによる温室効果ガスの直接排出) 及び Scope 2 (他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出) による排出量